

令和3年度 第40回札幌市中学校体育連盟 柔道新人戦大会開催要項 改訂案

1. 名称 令和3年度 第40回札幌市中学校体育連盟 柔道新人戦大会
2. 主催 札幌市中学校体育連盟 札幌柔道連盟
3. 主管 札幌市中学校体育連盟柔道専門委員会
4. 後援 札幌市 札幌市教育委員会 札幌市中学校長会
札幌市PTA協議会 北海道新聞社
5. 期 日 **令和3年11月6日(土) 午前：女子個人戦&団体戦** 午後：男子団体
7日(日) 男子個人戦

※ 体育館に入る最大人数を減らすため。保護者および応援生徒も来校を禁ずる
※ 日程も含め、変更の可能性あり

6. 会場 札幌市立東白石中学校 体育館
〒003-0023 札幌市白石区南郷通15丁目北4番1号(電話:011-864-0984)
※地下鉄東西線 南郷13丁目駅下車 徒歩8分

※ 会場は変えない。出入口は開放玄関のみとし、トイレも開放側のみ。ホール側に生徒を入れない。
※ 開放玄関から入場次第、手洗いの徹底をしてもらう。

7. 参加資格

- (1) 本連盟に加入する単一学校の1・2年生で、当該校長が出場を認めた者。
- (2) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長、教頭、教員(養護教員も含む)、部活動指導員とする。
- (3) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。
- (4) 外部指導者は、校長が認めた者で札幌市中学校体育連盟に登録された者とする。
- (5) 学校教育法134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)の参加を認める。但し、詳細については、札幌市中学校体育連盟内規「札幌市中学校体育連盟選手権大会における参加の特例<1>」による。
- (6) チームは、単一学校で編成されたものとする。但し、札幌市中学校体育連盟会長が認めた合同チームはその限りではない。詳細については札幌市中学校体育連盟内規「札幌市中学校体育連盟選手権大会における参加の特例<2>」による。
- (7) 団体戦出場チームは、男女とも参加申込み登録をしたすべての中学校とする。
- (8) 個人戦出場者は、男女ともには無制限とする。(令和3年度より改訂)
- (9) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

8. 選手登録

- 〔団体戦〕
- ・男子：監督、選手5名、補員3名以内とする。
 - ・女子：監督、選手3名、補員1名以内とする。
 - ・選手、補員は監督会議における登録者とする。ケガ等による選手の欠場の場合当日の監督打ち合わせで承認を得る。

〔個人戦〕

- ・監督、選手とする。ケガによる選手の欠場の場合のみ、当日の監督打ち合わせで承認を得る。ただし、同階級であることとする。

※ 監督は、団体・個人とも兼任できる。

- ・個人戦の階級は以下の男子8階級、女子8階級とする。

男 子		女 子	
90kg 超級	90kg 超～	70kg 超級	70kg 超～
90kg 級	81kg 超～90kg 以下	70kg 級	63kg 超～70kg 以下
81kg 級	73kg 超～81kg 以下	63kg 級	57kg 超～63kg 以下
73kg 級	66kg 超～73kg 以下	57kg 級	52kg 超～57kg 以下
66kg 級	60kg 超～66kg 以下	52kg 級	48kg 超～52kg 以下
60kg 級	55kg 超～60kg 以下	48kg 級	44kg 超～48kg 以下
55kg 級	50kg 超～55kg 以下	44kg 級	40kg 超～44kg 以下
50kg 級	50kg 以下	40kg 級	40kg 以下

9. 参加料 男女団体戦 1チーム5,000円 個人戦 1名700円
(大会当日の納入で構いません。)

10. 表彰 ・団体戦、個人戦ともに「優勝：1、2位：1、3位：2」とする。
 ・団体戦優勝チームには、札幌市長杯および札幌市中学校体育連盟優勝旗を授与する。
 ・入賞者には、メダルと個人賞状を授与する。

11. 大会日程

(1) 個人戦および団体戦選手登録用紙の提出

令和3年10月5日(火)17時までに下記まで提出すること。(期日厳守)

札幌市立東栄中学校 鮎谷昌隆

「中学校柔道大会登録システム」を用いて選手登録をしてください。また、入力後印刷し、職印を押した申込用紙は、庁内メール等でお送りください。FAXは不可とします。

間に合わない場合、ご連絡ください。

(2) 監督会議

①期 日：令和3年10月14日(木) 15:30～

②会 場：Zoom または googlemeet にて

ミーティングコード等に関しては、追ってご連絡します

③内 容：団体戦抽選ほか (参加料は当日で構いません。)

※ 会議資料は、後日送付致します。

※ 開催要項をコピーし、選手に配布してください。

※ 遠隔での会議ですので、今年度は団体選手登録用紙も事前提出願います。

(3) 会場準備・撤去作業

11月 5日(金) 16:30より設営

11月 6日(土) 8:00より60分程度…設営

16:30より30分程度…会場整備・清掃作業

11月 7日(日) 8:00より30分程度…会場再整備

13:30より90分程度…撤去

(4) 大会当日の日程

第1日目【11月6日(土)】		第2日目【11月7日(日)】	
7:30	役員・会場係生徒集合、会場設営	8:00	役員・会場係生徒集合、会場設営
9:00	選手集合、受付	8:15	選手集合、受付
9:30	女子団体戦・個人戦計量、アップ (係生徒打ち合わせ)	8:45	男子個人戦計量、アップ
10:00	審判打ち合わせ	9:15	審判打ち合わせ(オフィシャル生徒リハール)
10:20	監督打ち合わせ	9:30	監督打ち合わせ
10:30	開会式(簡易)	9:40	係打ち合わせ(各試合場)
10:40	個人戦開始	9:50	開会式(簡易)
11:40	個人終了、アップ、団体戦開始	10:00	個人戦開始
12:00	女子終了、退場	13:30	個人戦終了
13:00	男子団体入場	15:00	(会場完全撤去時刻)
13:30	諸注意、団体計量、アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室を体育館ステージ側の、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 左上を女子更衣室、右下を男子更衣室とします。 </div> ・監督・審判会議を武道場で行います。 	
14:00	男子団体開始		
16:30	団体戦終撤収		
17:00	(会場完全撤去時刻)		

12. 開閉会式

開 会 式	閉 会 式	
1. 選手集合、整列	1. 選手集合、整列	
2. 開式宣言	2. 開式宣言	
3. 大会実行委員長挨拶 札幌市立東栄中学校長 菊池 浩樹	3. 成績発表、表彰	
4. 競技上の諸注意 札幌市立伏見中学校 高橋 直也	4. 大会実行委員長挨拶 札幌市立東栄中学校長 菊池 浩樹	
5. 選手宣誓	5. 閉式宣言	
6. 閉式宣言	6. 諸連絡	
7. 諸連絡	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 昨年度優勝校の北嶺中は優勝旗とカップを持ってきてください。当日難しければ、事前に東栄中：鮎谷または東白石中：小野までお願いします。(女子は東白石でした) </div>	

※ 選手が集合する時間を短くします。閉会式は行いません。選手宣誓も省略します。

13. 大会規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定・「少年大会申し合わせ事項」による。
- (2) 試合時間は、団体戦、個人戦ともに3分間とする。
- (3) 延長戦（ゴールデンスコア）は時間無制限とし、本戦のスコアを反映する。
- (4) 競技方法

【団体戦】

- ①男子は決勝トーナメント戦（3位4位決定戦は行わない）、女子は決勝リーグ戦で行う。トーナメント戦では、必ず勝敗を決し、リーグ戦は引き分けもある。
- ②男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④試合時間は正規の3分間とし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ⑤優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技有」または「僅差（『指導』の差2）」とする。
- ⑥勝敗の優劣は次の通りとする。「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
- ⑦チームの勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア、チーム間における勝ち数による。
 - イ、アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ、イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑨選手が、男子5人、女子3人に満たないチームの参加については、男子3人、女子2人を下限として認めるが、大将から順にオーダーを組むこととする。

【個人戦】

- ①トーナメント方式を基本とするが、少数の場合はリーグ戦とする（3位、4位決定戦は行わない）。
- ②試合時間はすべて正規の3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、準々決勝までは旗判定により勝敗を決する。準決勝、決勝リーグ以降は延長戦勝敗を決する。
- ③勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④勝敗の優劣は次の通りとする。「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」>「旗判定」
- ⑤リーグ戦の順位は、次の方法によって決定する。
 - ア、勝ち数による。
 - イ、アにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ウ、イにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - エ、ウにおいて同等の場合は、GS方式の再試合を行う。試合順は再抽選による。
- ⑤未計量の場合は失格となる。計量したが合格しなかった選手は、個人戦開始までの再計量を認める。

14. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年・段級・身長・体重（種目によって取得する個人情報）は、大会運営のために必要なプログラム、掲示板、大会結果記録速報および札幌市中体連記録集「青春の軌跡」への掲載するために利用する。
- (2) 選手の生年月日は、出場資格等で年齢を確認しなければならない場合に取得する。
- (3) 中学生の大会では、生徒保護の観点から試合内容をyoutubeを含むSNSへの写真や映像の掲載を禁止しています。

15. その他

- (1) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
 - ア. 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
 - イ. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医に(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ウ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - エ. 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。
- (3) 貴重品は、各学校の責任において管理すること。
- (4) 試合会場では、一般見学者・応援者の試合場および大会関係各所への立ち入りを制限するので、監督は各校選手、保護者への周知徹底をお願いすること。
- (5) 昼食時間は特に設けない。また、指定された場所以外での飲食を禁ずる。
- (6) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。**女子の黒帯は、白線のないものとする。**
- (7) 試合の途中で、柔道衣に関して審判員から疑義をもたれて測定され、規定に達していない場合は「反則負け」となる。会場にある柔道衣測定器を用いて自ら検査すること。
- (8) 「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣規格の取り扱いについて(11.4.4)」に鑑み、全日本柔道連盟認証柔道衣の使用が義務づけられた。ただし、本大会は、旧規格の柔道衣、全日本柔道連盟認証柔道衣のどちらでも可とする。
- (9) 柔道衣の袖や裾を折って縫い付けることは服装違反となる。
- (10) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- (11) 選手は、柔道衣背面に下図のようなゼッケン(学校名・名字入り)を道衣の背部に縫いつけて出場すること。

<p>【ゼッケンについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①布地は白色(晒・太綾) ②サイズは横30~35cm、縦25~30cm ③名字(姓)は上側2/3 ④学校名は下側1/3 「…中」「…中学校」は省略してもよい。 ⑤書体は太字ゴシック体または明朝体 男子は黒色、女子は赤色 ⑥縫い付けは、後襟から10cm下部で、<u>四辺と対角線に強く行うこと。</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今年度は感染予防の観点から、紅白帯を各自用意してください。少年団名が刺繍されていても構いません。よろしくお願ひします。忘れた場合は中体連で貸し出します。</p> </div>	
--	--

- (12) 選手の礼法、および応援のマナーについて、各チームにおいて事前に指導すること。
- (13) **ゴミの始末は、持ち帰り**とする。昨年度は会場内外で大人のものと思われるゴミの放置が見受けられた。選手のみならず観戦者にも周知をすること。
- (14) 大会会場の駐車場は駐車券がない車両の駐車は禁止とする。地下鉄等公共交通機関または、周辺駐車場を利用すること。また、迷惑駐車等は絶対にしないこと。
- (15) 会場内は土足厳禁であるため、外靴を入れる靴袋が必要となる。靴袋は各自持参すること。
- (16) 試合前の電話などによる問い合わせは受け付けない。組み合わせのデータの公開先については、下記のホームページにおいて、団体戦は監督会議後、個人戦は大会1週間前をめどに発表する予定である。

検索「北海道中学柔道 Web」 (URL:<http://zsr.s201.xrea.com/zcjl5/index.html>)

(17) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について

- ①参加者は、(公財)日本中学校体育連盟の全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン並びにスポーツ庁、(公財)全日本柔道連盟が作成している新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関するガイドラインを遵守し、大会に参加すること。
- ②大会実行委員会としても可能な限り感染防止対策を徹底した上で大会準備や大会運営に努めるが、参加者も大会期間中は各種ガイドラインに基づき、感染予防に努めること。
- ③参加者は、大会申込み時に本実行委員会の参加同意書を在籍学校に必ず提出すること。
- ④参加者は、大会前の感染予防や緊急時の体制づくりの観点から、大会前2週間の体調と行動履歴の記録を所定の用紙に毎日記入すること。また、大会参加時に大会前2週間の記録を提出すること。
※提出の必要はないが、大会後2週間も経過観察および記録を行い、新型コロナ感染症陽性の診断を受けた場合、飴谷まで速やかに連絡する。(形式は中学校独自のものでも構わない)
- ⑤チームや選手の出場停止等、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために主催者が決めた措置については、主催者の指示に従い、遵守すること。
- ⑥今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、市および国や北海道などから大会開催についての指導・助言があった場合や開催自治体などが当該地域において大会を開催することが難しいと判断した場合は、主催団体において大会の開催について改めて協議する。
- ⑦ワクチン接種の副作用に関して
同居の家族の発熱等については、保護者がワクチンによる副反応としての発熱との判断であるならば、大会参加可とする。ただし、生徒本人の発熱等については不可とする。
- ⑧大会前2週間以内であれば、その発熱者とともに練習していたチームは全員棄権とする。
(個人部であればその少年団、中学校の部活動で活動していればその部員全員)
- ⑨大会期間中、参加者に発熱症状があった場合、本人の検査結果等がわかるまで大会を延期または中止する。大会中であれば、試合等を中止し解散する。1日目と2日目の間に発熱者が判明した場合その選手の診断結果がでるまでは大会を行わない。体調に不安のある場合は参加をひかえること。

大会中の具体的な対策

- ・選手以外は常にマスク着用
- ・選手も、本選以外は常にマスク着用
- ・畳の上以外は上靴で移動
- ・試合前後での手指消毒
- ・マスク入れを個人で準備すること など